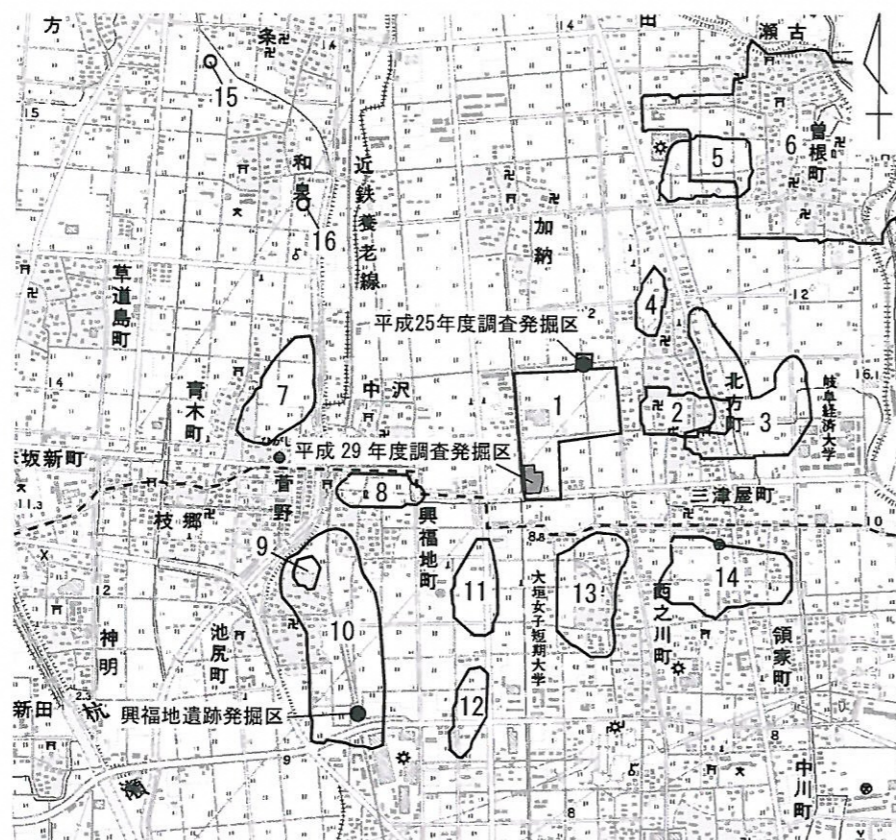


○北方京水遺跡の紹介

北方京水遺跡は、古代から中世の遺物散布地として登録されている遺跡です。埋没した旧中州と旧河川上に立地していると推定され、中洲上には集落跡が残存すると考えられています。今年度の調査は、公共広域河川改修事業（調整池新設）に伴い実施しています。

平成25年度には、今年度の発掘区の北東約400mの位置で発掘調査を行い、鎌倉時代初頭の集落跡と2面の水田跡を確認しています。また、同年度に発掘区の南西約900mの位置で興福地遺跡の発掘調査を行い、平安時代から鎌倉時代までの掘立柱建物や井戸、溝、柱穴などを確認しています。



(国土地理院 1:25,000 地形図「大垣」を元に作成)

- |                   |                    |                     |
|-------------------|--------------------|---------------------|
| 1 北方京水遺跡 (古代・中世)  | 7 青木遺跡 (中世)        | 13 西之川遺跡 (弥生・古墳・古代) |
| 2 北方城跡 (中世)       | 8 興福地村北遺跡 (中世)     | 14 領家遺跡 (古代・中世)     |
| 3 北方遺跡 (古墳・古代・中世) | 9 池尻城跡 (中世)        | 15 南方古銭出土跡 (中世)     |
| 4 北方治郎丸遺跡 (古代・中世) | 10 興福地遺跡 (古代・中世)   | 16 和泉城跡 (近世)        |
| 5 曾根八千町遺跡 (弥生～中世) | 11 興福地向田遺跡 (古代・中世) | ----- 中山道           |
| 6 曾根城跡・城下町 (中世)   | 12 塚越遺跡 (古墳)       |                     |

同志社大学教授 鋤柄俊夫氏のコメント

今回の調査では、溝で区画された屋敷跡と考えられる範囲を確認した。南の出入口正面に庭と母屋を配置した中心となる区画と、その周りに複数の副次的な区画をもつことから複合的な区画を有する屋敷跡であった可能性がある。発掘区南側には東山道と推定される道が通っており、街道に面していたと考えられる。

区画溝の底から出土遺物には、常滑甕、古瀬戸の鉄釉燭台や灰釉御皿、鉄釉播鉢、緑釉小皿、灰釉香炉などがみられる。また、漆器を代表として木製品が多く出土している。いずれも14世紀末から15世紀の前半頃の年代が推定されることから、15世紀前半を中心とした時期に営まれたものと考えられる。

○用語解説

- 【掘立柱建物】 柱を地面に掘った穴に埋めて建てた建物。
- 【礎板石】 建物の柱の沈下を防ぐための石。
- 【漆碗・皿】 表面に漆を塗った木製の碗・皿。
- 【山茶碗】 平安時代の終わりころから室町時代に、東海地方を中心として生産された陶器。
- 【風字硯】 古代に使われた硯の一種で、几（かぜかんむり）の形に似たもの。
- 【古瀬戸】 鎌倉・室町時代に愛知県瀬戸地方を中心として焼かれた陶器
- 【鉄釉】 鉄分を成分とした釉薬。
- 【灰釉】 植物の灰をおもな成分とした釉薬。
- 【緑釉】 緑色に発色する釉薬。

きた がた きょう ずい  
**北方京水遺跡**  
**現地見学会**  
 ようこそ  
 ちゃん

平成29年11月11日(土) 13:30～ 主催:岐阜県文化財保護センター



所在地:岐阜県大垣市北方町  
 調査面積: 5, 166㎡  
 事業主:大垣土木事務所  
 調査原因:公共広域河川改修事業  
 調査期間:5月～11月

中世のお屋敷にタイムスリップ!



## 区画溝

調査により何条もの溝が発見され、溝によっていくつかの区画に分けられていました。幅約30m、奥行き約50mの広がりを持つ中心となる区画の、周りに副次的な区画が展開していたと考えられます。

また、南側では溝が途切れる部分があり、そこが区画の出入口として利用されていた可能性があります。

溝の底からは14世紀末から15世紀前半の遺物がまともって出土しており、中世に利用されていた区画溝であると考えられます。



東側区画溝遺物出土状況

## 掘立柱建物 1

中心となる区画の西側の区画で見つかった2間×3間の掘立柱建物です。南側と東側にある区画溝と方向が同じです。



## 掘立柱建物 2

中心となる区画の南側の区画で見つかった2間×1間の掘立柱建物です。発掘区の南側に向かって延びていると考えられます。この掘立柱建物跡では柱に利用された木材や柱を支えるための石である礎盤石も残っていました。



柱材



礎盤石

## 中心となる区画内の井戸 … 3基の井戸を検出しました！

井戸1からは井戸枠の一部が出土しており、井戸枠を利用していたことがうかがえます。底からは突き刺さった状態で竹が出土しており、井戸を埋める際に儀式を行った可能性があります。



底から出土した竹材

井戸2では底から漆器と木でできた容器(曲物)が出土しました。井戸1と同様に井戸を埋める際に儀式を行った可能性があります。



底から出土した漆器と曲物

井戸3の底からはひしゃくが出土しました。



底から出土したひしゃく

## 廃棄土坑

炭化物を含む埋土の中からたくさんの遺物が出土しました。何らかの理由でものがまとめて捨てられた可能性のある穴です。下の写真はその一例です。写真の山茶碗のように底に墨で文字が書かれたものもありました。



土師器皿



山茶碗(墨書あり)



古銭



○ の範囲が区画溝と考えられる溝

□ の範囲が中心となる区画